

# 第3期 群馬県スポーツ推進計画（令和8年度～令和12年度） 概要

## 策定の趣旨

- 現行の「群馬県スポーツ推進計画」の計画期間が終了することから、「スポーツ基本法」や「群馬県スポーツ振興条例」の主旨及びスポーツを取り巻く様々な状況を踏まえ、新たに策定する。

## 期間

- 令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの **5** 年間

## 計画の目指す方向性

- 令和11（2029）年に開催される「湯けむり国スポ・全スポぐんま」を追い風に、**群馬県のスポーツ振興施策を加速**させ、「**県民誰もがスポーツによって、県民幸福度-Well-being-を向上し、活力ある群馬県を創生する**」という基本理念の実現を目指す。

## 位置づけ



社会課題

価値観の多様化  
人口減少・少子高齢化  
デジタル社会の急速な発展  
スポーツ基本法改正



国スポ・全スポ開催

第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会  
湯けむり国スポ・全スポ  
ぐんま2029  
83rd JAPAN GAMES  
28th National Sports Festival  
for People with a Disability



目指す方向性(基本理念)

県民誰もがスポーツによって、  
**幸福度-Well-being-を向上し、**  
活力ある群馬県を創生する

## 基本理念

県民誰もがスポーツによって、**県民幸福度-Well-being-**を向上し、活力ある群馬県を創生する

## メイン コンセプト

**「湯けむり国スポ・全スポぐんま」のアクションから未来につながる価値創出**

## 政策目標

I. 県民のスポーツ参加拡大による  
**健康長寿社会の実現**

II. パラスポーツの推進を軸とする  
**共生社会の実現**

III. スポーツの魅力を活かした  
**活力ある地域創生の推進**

IV. スポーツの力による  
**感動の創出と誇りの醸成**

## 施策

①スポーツ参画人口の増加

①パラスポーツの普及拡大

①プロスポーツの活用等による  
地域の魅力発信

①競技力を向上させる  
システムの構築

②地域スポーツを支える  
人材の育成と機会の充実

②パラスポーツを支える  
人材の育成

②アウトドアスポーツによる  
交流人口の増大

②アスリートの発掘・育成

③子どものスポーツ機会の充実

③性別・年齢・国籍等に  
関わらないスポーツ参加

③eスポーツ、アーバンスポーツ  
による地域経済の活性化

③データサイエンスの活用

④ライフステージに応じた  
スポーツ参加

④スポーツ施設の有効活用

④アスリートをサポートする  
人材・組織の育成

あかぎ国体以来46年ぶりの開催となる、2029年の第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会。

大会愛称は「**湯けむり国スポ・全スポぐんま**」です。

群馬県の誇る温泉の「湯けむり」のように、湧き上がる創造力とエネルギーを結集し、県民一丸となって『**群馬らしさ**』を体現する**大会**として開催します。**国スポの総合優勝を目指す**とともに、**今の時代に合ったコンパクトな大会**とし、**サステイナブルな大会**としての「**新しいスタンダード**」を示します。

さらに、「湯けむり国スポ・全スポぐんま」を単なるスポーツイベントに終わらせることなく、**持続的な選手強化の仕組みづくり**など、開催を通じて**未来へつなげる価値を創出**し、**群馬県のスポーツ環境の向上**に取り組めます。

### 現行施策



etc.



国スポ・全スポ開催を機に  
施策全体をアップデート



- ✓ 未来へつなげる価値創出
- ✓ 群馬県のスポーツ環境の向上

# 「湯けむり国スポ・全スポぐんま」関連の具体的な取組



## スポーツを核とした 地域活力の向上

- 新 アスリートファーストの開・閉会式の開催【政策Ⅲ-①】
- 新 民間企業の力を活用した認知度向上・大会への参加促進【政策Ⅲ-①】
- 新 官民共創による県民幸福度の向上【政策Ⅲ-①】
- 新 湯けむり国スポ・全スポぐんままでの普及促進（eスポーツ）【政策Ⅲ-③】



## ワイズスペンディング の推進

- 拡 民間ノウハウの活用【政策Ⅲ-④】
- 拡 市町村と連携した施設整備（拠点スポーツ施設）【政策Ⅲ-④】
- 新 既存競技施設の最大限の活用【政策Ⅲ-④】
- 新 地域経済の活性化につながる施設整備【政策Ⅲ-④】
- 新 計画的な競技用具整備【政策Ⅲ-④】



## 誰もが参加できる スポーツ文化の醸成

- 拡 スポーツイベント等の開催【政策Ⅰ-①】
- 新 県内市町村でのデモンストレーションスポーツの実施【政策Ⅰ-①】
- 新 障害の有無等に関わらず、共にスポーツを楽しむ機会の創出【政策Ⅱ-①】
- 新 湯けむり国スポ・全スポぐんまの応援参加の促進【政策Ⅳ-④】



## 持続的な人材育成と 競技力向上の推進

- 新 審判員等の競技役員の養成【政策Ⅰ-②】
- 新 国スポ後も持続する競技力向上の推進（運動部活動の改革推進）【政策Ⅰ-③】
- 新 長期的な競技力向上につながる「ぐんまハイパフォーマンスシステム」の推進【政策Ⅳ-①】
- 拡 国際大会や全国大会で活躍できるジュニアの発掘・育成【政策Ⅳ-②】
- 拡 一貫した指導による小学生・中学生・高校生の育成・強化【政策Ⅳ-②】
- 拡 全国や世界で活躍できるアスリート・指導者の育成【政策Ⅳ-②】
- 拡 活躍が期待されるアスリートの紹介【政策Ⅳ-②】
- 拡 データサイエンスやスポーツテックを活用したアスリート強化【政策Ⅳ-③】
- 拡 健康体力測定とフィールド測定の実施【政策Ⅳ-③】
- 拡 スポーツ栄養士・アスレチックトレーナー等の活用【政策Ⅳ-③】
- 新 専門人材と連携したアスリートへの支援体制の構築【政策Ⅳ-③】
- 拡 質の高い指導者等の養成【政策Ⅳ-④】
- 新 競技団体や民間事業者等との連携【政策Ⅳ-④】
- 新 スポーツを実施する者の安全・安心の確保（競技スポーツ）【政策Ⅳ-④】
- 新 スポーツ・インテグリティの強化（競技スポーツ）【政策Ⅳ-④】
- 拡 群馬県のスポーツ界における好循環の創造【政策Ⅳ-④】



## 共生社会に向けた歩みの深化

- 拡 関係団体等との普及啓発活動【政策Ⅱ-①】
- 新 子どもから広がる共生社会への理解促進【政策Ⅱ-①】
- 拡 選手の育成・強化（パラアスリート支援）【政策Ⅱ-①】
- 拡 各種障害者スポーツ大会の開催【政策Ⅱ-①】
- 拡 競技団体の育成（パラスポーツを支える人材の確保）【政策Ⅱ-②】
- 拡 パラスポーツ指導員等の養成【政策Ⅱ-②】
- 新 ボランティアの負担軽減等による参加しやすい形の構築【政策Ⅱ-②】
- 新 適正規模の情報支援ボランティアの養成・配置【政策Ⅱ-②】
- 新 誰もが情報にアクセスできる環境整備及び利便性向上【政策Ⅱ-②】
- 拡 バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設の整備【政策Ⅲ-④】
- 新 ユニバーサルデザインへの対応の促進【政策Ⅲ-④】
- 新 バリアフリー調査を踏まえた施設改修等【政策Ⅲ-④】



## 政策目標Ⅰ

### 県民のスポーツ参加拡大による健康長寿社会の実現

#### 施策

#### 今後の施策展開（一部抜粋）

#### ① スポーツ参画人口の増加

- 湯けむり国スポ・全スポぐんまをきっかけとした日常生活のスポーツ機会の拡大
- 新** マンガ・アニメ等の多様な文化を通じたスポーツ機会の創出

#### ② 地域スポーツを支える人材の育成と機会の充実

- 地域のスポーツを支える人材の確保
- 総合型地域スポーツクラブの育成と支援

#### ③ 子どものスポーツ機会の充実

- 幼児期からの体力向上の推進
- 運動部活動の改革推進
- 子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実

#### ④ ライフステージに応じたスポーツ参加

- 新** ライフパフォーマンスの向上
- 高齢者のスポーツ参加の促進
- 日常生活のスポーツ機会の拡大

#### ① スポーツ実施率（週1回以上）

R6 (2024) 年度

54.7 %

R12 (2030) 年度

70 %

#### ② 県連絡協議会に加盟している総合型地域スポーツクラブの会員数

R6 (2024) 年度

4,600 人

R12 (2030) 年度

6,900 人

#### ③ 1週間の総運動時間 （体育・保健体育の授業時間以外） の全国平均との差

R6 (2024) 年度

小5男子… -4.29分  
小5女子… -24.09分  
中2男子… +53.01分  
中2女子… +73.34分

R12 (2030) 年度

小学校・中学校  
ともに  
全国平均以上

#### ④ 高齢者（65歳以上）の スポーツ実施率（週1回以上）

R6 (2024) 年度

69.5 %

R12 (2030) 年度

75 %

## 政策目標Ⅱ

### パラスポーツの推進を軸とする共生社会の実現

#### 施策

#### 今後の施策展開（一部抜粋）

#### ① パラスポーツの普及拡大

- 新** パラスポーツを通じたつながりの創出
- 新** パラアスリート支援

#### ② パラスポーツを支える人材育成

- パラスポーツを支える人材の確保
- 新** 全スポボランティア参加・観戦の幅広い募集
- 新** 全スポ情報支援ボランティア養成

#### ③ 性別・年齢・国籍等に関わらないスポーツ参加

- 新** 性別・年齢・国籍等に関わらないスポーツ参加の推進

#### ① 県民アンケート調査 「パラスポーツの試合・プレーを 観覧したことがある」割合

R6 (2024) 年度

30.6 %

R12 (2030) 年度

50 %

#### ② 日本パラスポーツ協会 公認指導者登録者数 （スポーツコーチ、スポーツ医等含む）

R6 (2024) 年度

309 人

R12 (2030) 年度

360 人

#### ③ 20代～50代のスポーツ実施率（週1回以上）

R6 (2024) 年度

49 %

R12 (2030) 年度

70 %

## 政策目標Ⅲ

### スポーツの魅力を活かした活力ある地域創生の推進

#### 施策

#### 今後の施策展開（一部抜粋）

##### ① プロスポーツの活用等による地域の魅力発信

- プロスポーツチームの魅力向上
- トップレベルのスポーツに触れる機会の提供
- 新 開・閉会式の屋内開催
- 新 官民共創による広報・機運醸成

##### ② アウトドアスポーツによる交流人口の増大

- 観光産業と連携したスポーツツーリズムの推進

##### ③ eスポーツ、アーバンスポーツによる地域経済の活性化

- eスポーツの普及・拠点化
- 新 文化プログラムによるeスポーツの推進
- アーバンスポーツを活用した地域活性化

##### ④ スポーツ施設の有効活用

- 新 中長期的視点に立った計画的なスポーツ環境の整備
- 新 既存施設を活用した両大会の開催
- 新 競技会場のバリアフリー化

#### ① プロスポーツチームと連携して実施した県事業数

R6 (2024) 年度

18 事業

R12 (2030) 年度

50 事業

#### ② ぐんま県境稜線トレイル登山者数

R6 (2024) 年度

46,981 人

R12 (2030) 年度

65,000 人

#### ③ eスポーツに関連する大会開催回数 (県が主催、共催、後援等するもの)

R6 (2024) 年度

20 回

R12 (2030) 年度

25 回

#### ④ 県内社会体育施設の利用人数

R6 (2024) 年度

8,934,324 人

R12 (2030) 年度

現状を維持

## 政策目標Ⅳ

### スポーツの力による感動の創出と誇りの醸成

#### 施策

#### 今後の施策展開（一部抜粋）

##### ① 競技力を向上させるシステムの構築

- 新 競技力向上対策の根幹となる「ぐんまハイパフォーマンスシステム」の推進

##### ② アスリートの発掘・育成

- ジュニア選手の発掘・育成と強化
- 世界に羽ばたくアスリートの育成・強化

##### ③ データサイエンスの活用

- データサイエンスを活用したアスリート育成
- 新 医・科学支援体制の構築

##### ④ アスリートをサポートする人材・組織の育成

- 指導者等の養成・確保
- 新 競技力向上に関わる団体等の組織強化
- 新 アスリートに理解のある企業の拡大
- 新 アスリートを応援する文化の醸成

#### ① 全国大会優勝者数・国際大会入賞者数

R6 (2024) 年度

154 人

R12 (2030) 年度

186 人

#### ② ぐんまスーパーキッズ・スタージュニアプロジェクト競技数

R6 (2024) 年度

16 競技

R12 (2030) 年度

25 競技

#### ③ 健康体力・フィールド測定

R6 (2024) 年度

1,347 件

R12 (2030) 年度

2,000 件

#### ④ 「アスリート・ジョブサポートぐんま」事業で採用したアスリートの人数（延べ）

R6 (2024) 年度

5 人

R12 (2030) 年度

22 人